

当院採用のJAK阻害薬一覧

★適応症や用法・用量など最終確認は添付文書をお願いします★

	適応症	一般名	商品名	用法用量	禁忌			備考
					血球数	肝機能・腎機能	その他	
内 用	・骨髄線維症 ・真性多血症	ルキノリチニブ	ジャカビ錠5mg	<p><骨髄線維症> 1日2回、12時間毎を目安に経口投与。1回5mg～25mgの範囲で、状態により適宜増減。</p> <p><真性多血症> 1回10mgを開始用量とし、1日2回、12時間毎を目安に経口投与。状態により適宜増減するが、1回25mg1日2回を超えないこと。</p>	該当なし	該当なし	・妊婦または妊娠可能性 ・本剤の成分に過敏症	・血球数に応じて用量を調節し、以下の場合は休薬が必要。 「血小板数5万/mm ³ 未満」 「好中球数500/mm ³ 未満(骨髄線維症)または1000/mm ³ 未満(真性多血症)」 「ヘモグロビン量8g/dL未満(真性多血症)」 ・強力なCYP3A4阻害薬と併用時には減量を考慮。
	・関節リウマチ	ペフィシチニブ	スマイラフ錠50mg スマイラフ錠100mg	<p><関節リウマチ> 150mgを1日1回食後経口投与。状態に応じ100mgを1日1回投与可。</p>	<p>・好中球数<500mm³</p> <p>・リンパ球数<500mm³</p> <p>・ヘモグロビン値<8g/dL</p>	・重度の肝機能障害	<p>・重篤な感染症</p> <p>・活動性結核</p> <p>・妊婦または妊娠可能性</p> <p>・本剤の成分に過敏症</p>	・中等度の肝機能障害に投与する場合50mg1日1回に減量が必要。
	・潰瘍性大腸炎	トファシチニブ	ゼルヤンツ錠5mg	<p><関節リウマチ> 1回5mgを1日2回経口投与</p> <p><中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入及び維持療法> 導入療法:1回10mgを1日2回8週間経口投与。効果不十分な場合はさらに8週間投与可。</p> <p>維持療法:1回5mgを1日2回経口投与。維持療法中に効果が減弱した患者、過去の薬物治療において難治性の患者(TNF阻害剤無効例等)では1回10mgを1日2回投与可。</p>	<p>・好中球数<500mm³</p> <p>・リンパ球数<500mm³</p> <p>・ヘモグロビン値<8g/dL</p>	・重度の肝機能障害	<p>・重篤な感染症</p> <p>・活動性結核</p> <p>・妊婦または妊娠可能性</p> <p>・本剤の成分に過敏症</p>	・中等度以上の腎機能障害を有する患者、中等度の肝機能障害を有する患者、CYP3A4阻害薬と併用時には減量が必要。
		フィルゴチニブ	ジセレカ錠100mg ジセレカ錠200mg	<p><関節リウマチ> 200mgを1日1回経口投与。状態に応じ100mgを1日1回投与可。</p> <p><中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入及び維持療法> 200mgを1日1回経口投与。維持療法では、状態に応じ100mgを1日1回投与可。</p>	<p>・好中球数<1000mm³</p> <p>・リンパ球数<500mm³</p> <p>・ヘモグロビン値<8g/dL</p>	<p>・重度の肝機能障害</p> <p>・末期腎不全</p>	<p>・重篤な感染症</p> <p>・活動性結核</p> <p>・妊婦または妊娠可能性</p> <p>・本剤の成分に過敏症</p>	・腎機能障害(eGFR<60)を有する患者には減量が必要。
	・SARS-CoV-2による肺炎 ・円形脱毛症	バリシチニブ	オルミエント錠2mg オルミエント錠4mg	<p><関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症> 4mgを1日1回経口投与。状態に応じ2mgに減量。</p> <p><SARS-CoV-2による肺炎> レムデシビルとの併用において4mgを1日1回経口投与。総投与期間は14日間まで。</p>	<p><効能共通></p> <p>・好中球数<500mm³</p> <p><関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症></p> <p>・リンパ球数<500mm³</p> <p>・ヘモグロビン値<8g/dL</p> <p><SARS-CoV-2による肺炎></p> <p>・リンパ球数<200mm³</p>	<p><関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症></p> <p>・重度の腎機能障害(eGFR<30)</p> <p><SARS-CoV-2による肺炎></p> <p>・透析患者又は末期腎不全(eGFR<15)</p>	<p><効能共通></p> <p>・活動性結核</p> <p>・妊婦または妊娠可能性</p> <p>・本剤の成分に過敏症</p> <p><関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症></p> <p>・重篤な感染症</p>	・腎機能障害(eGFR<60)を有する患者、プロベネシドと併用時には減量が必要。
	・関節症性乾癬 ・強直性脊椎炎	ウパダシチニブ	リンヴオック錠7.5mg (院外のみ) リンヴオック錠15mg (院外のみ)	<p><関節リウマチ> 15mgを1日1回経口投与。状態に応じ7.5mgを1日1回投与可。</p> <p><関節症性乾癬、強直性脊椎炎> 15mgを1日1回経口投与。</p> <p><アトピー性皮膚炎> 成人:15mgを1日1回経口投与。状態に応じ30mgを1日1回投与可。 12歳以上かつ体重30kg以上の小児:15mgを1日1回経口投与。</p>	<p>・好中球数<1000mm³</p> <p>・リンパ球数<500mm³</p> <p>・ヘモグロビン値<8g/dL</p>	・重度の肝機能障害	<p>・重篤な感染症</p> <p>・活動性結核</p> <p>・妊婦または妊娠可能性</p> <p>・本剤の成分に過敏症</p>	<アトピー性皮膚炎> 強いCYP3A4阻害薬を継続的に投与中の患者、重度腎機能障害患者は、30mgへの増量不可。
	・アトピー性皮膚炎	アプロシチニブ	サイバインコ錠100mg (院外のみ)	<p><アトピー性皮膚炎> 100mgを1日1回経口投与。状態に応じ200mgを1日1回投与可。</p>	<p>・好中球数<1,000mm³</p> <p>・リンパ球数<500mm³</p> <p>・ヘモグロビン値<8g/dL</p> <p>・血小板数<50,000mm³</p>	・重度の肝機能障害	<p>・重篤な感染症</p> <p>・活動性結核</p> <p>・妊婦または妊娠可能性</p> <p>・本剤の成分に過敏症</p>	・腎機能障害(eGFR<60)を有する患者、強いCYP2C19阻害薬と併用時には減量が必要。
		デルゴシチニブ	コレクテム軟膏0.25% コレクテム軟膏0.5%	<p><アトピー性皮膚炎> 成人:0.5%製剤を1日2回、適量を患部に塗布。1回あたりの塗布量は5gまで。 小児:0.25%製剤を1日2回、適量を患部に塗布。症状に応じ0.5%製剤を1日2回塗布可。1回あたりの塗布量は5gまでとするが、体格を考慮。</p>	該当なし	該当なし	・本剤の成分に過敏症	・1回あたりの塗布量は体表面積の30%までを目安とする。